

「エシカルサミット」に向けて◎座談会

出席者

- ACE 代表 **岩附 由香氏**
- アニマルライツセンター 代表理事 **岡田 千尋氏**
- 大和総研 主席研究員 **河口 真理子氏**
- エシカル協会 代表理事 **末吉 里花氏**
- フェアトレード・ラベル・ジャパン 事務局長 **中島 佳織氏**
- (司会) レスポンスアビリティ 代表取締役 **足立 直樹氏**



環境の場合、製造業であれば企業が自ら頑張ればかなりのことが解決できましたが、エシカルは、さらに原材料を作っている最上流まで遡り、サプライチェーンを変えようとしています。それを最終的な消費者の方や生活者の方を含め、バリューチェーン全体で取り組んでいこうというものです。それがかなり広がっています。エシカルサミットでは、その現状をあらわす方に見ていただき、勉強していただきたい。さらに、具体的にエシカルに取り組むにはどういったことを考えたらいいのか分からないという方に、エシカルの広がりを知っていただくべく、企業の方にも参加していただき、企業の立場から紹介いただきます。この点が、今回のサミットの面白いところです。

岩附 環境の場合、製造業であれば企業が自ら頑張ればかなりのことが解決できましたが、エシカルは、さらに原材料を作っている最上流まで遡り、サプライチェーンを変えようとしています。それを最終的な消費者の方や生活者の方を含め、バリューチェーン全体で取り組んでいこうというものです。それがかなり広がっています。エシカルサミットでは、その現状をあらわす方に見ていただき、勉強していただきたい。さらに、具体的にエシカルに取り組むにはどういったことを考えたらいいのか分からないという方に、エシカルの広がりを知っていただくべく、企業の方にも参加していただき、企業の立場から紹介いただきます。この点が、今回のサミットの面白いところです。

7月4〜6日、都内で初の「サミット」開催へ

エシカル普及へ生産・消費の課題議論

変革迫られる日本企業

日本エシカル推進協議会(会長山本良一(東京大学名誉教授))は7月4〜6日、東京都港区の品川プリンスホテルで、エシカル消費について考えるイベント「エシカルサミット」を初開催する。3日間をわたり、エシカル消費を広く発信する絶好の機会となる。そのうち、サミットの重要な論点となる、現在の生産・消費活動への認識と普及への課題について、活動を引き継ぐ有志者による議論を予定している。

足立 エシカルサミットとは、ことになりました。エシカルは、日本エシカル推進協議会が主催で、3日間、朝から晩まで催し、他にいろいろな企業に議論するのは日本は初めて、協賛をいただいて開催されるこの機会ではないかと思っております。

岩附 ACEは児童労働問題に取り組みたいと考えています。児童労働とは18歳未満の子どもの健康的な発達を妨げる労働のことをいいますが、現在、世界で1億2000万人いると言われています。そして、実は子どもが日々使っているのが児童労働によって作られているかもしれないのです。

01年5月、サッカーボールを縫っていた女の子が日本に来て、記者会見をしました。翌年に日本・韓国ワールドカップが開催されるというときに、ソニヤさん(この女の子です。彼女は小さいころからサッカーボール縫いをしていて、途中で失明してしまいましたが、それでも親戚の人が縫うのを手伝っていましたが、救出されたのちに「ヘルプ」を取ったカインシュ・サティヤル・マヤさんと一緒に来日しました。

記者会見で、彼女は「サッカーボールは大人が正当な賃金をもらって作ったものを使っている。子どもは学校へ行かなくて、そのために、どうか協力してください」と訴えました。

そして、私たちは、児童労働の問題を、単に途上の貧しい子たちがかわいそうに働いている問題としてではなく、自分たちの問題捉えをすべきだと訴えてくれました。

その結果、ACEが支援した地域で採れたカオを使って企業がチョコレートを作り、消費者の方々に、「児童労働がない」と言おうという問題があります。現在、カオ産産とコットン産産の児童労働を中心に取組んでいます。カオはガーナ、コットンはインドで、それぞれ現地のパートナーと共に児童労働

岩附氏 児童労働、私たち自らの問題

岡田氏 動物が苦しまない選択を

動物が苦しむまでで活動しています。これまでに1600人ぐらいの子供たちが児童労働から引き離され、学校へ行きました。その際、同時にその地域の学校環境も改善するため、1万3千人以上の子の学校環境を改善できました。

私たちは、それを最終的に使っている消費者の力です。

岩附 ACEは児童労働問題に取り組みたいと考えています。児童労働とは18歳未満の子どもの健康的な発達を妨げる労働のことをいいますが、現在、世界で1億2000万人いると言われています。そして、実は子どもが日々使っているのが児童労働によって作られているかもしれないのです。

01年5月、サッカーボールを縫っていた女の子が日本に来て、記者会見をしました。翌年に日本・韓国ワールドカップが開催されるというときに、ソニヤさん(この女の子です。彼女は小さいころからサッカーボール縫いをしていて、途中で失明してしまいましたが、それでも親戚の人が縫うのを手伝っていましたが、救出されたのちに「ヘルプ」を取ったカインシュ・サティヤル・マヤさんと一緒に来日しました。

記者会見で、彼女は「サッカーボールは大人が正当な賃金をもらって作ったものを使っている。子どもは学校へ行かなくて、そのために、どうか協力してください」と訴えました。

そして、私たちは、児童労働の問題を、単に途上の貧しい子たちがかわいそうに働いている問題としてではなく、自分たちの問題捉えをすべきだと訴えてくれました。

その結果、ACEが支援した地域で採れたカオを使って企業がチョコレートを作り、消費者の方々に、「児童労働がない」と言おうという問題があります。現在、カオ産産とコットン産産の児童労働を中心に取組んでいます。カオはガーナ、コットンはインドで、それぞれ現地のパートナーと共に児童労働

動物が苦しむまでで活動しています。これまでに1600人ぐらいの子供たちが児童労働から引き離され、学校へ行きました。その際、同時にその地域の学校環境も改善するため、1万3千人以上の子の学校環境を改善できました。

私たちは、それを最終的に使っている消費者の力です。

岩附 ACEは児童労働問題に取り組みたいと考えています。児童労働とは18歳未満の子どもの健康的な発達を妨げる労働のことをいいますが、現在、世界で1億2000万人いると言われています。そして、実は子どもが日々使っているのが児童労働によって作られているかもしれないのです。

01年5月、サッカーボールを縫っていた女の子が日本に来て、記者会見をしました。翌年に日本・韓国ワールドカップが開催されるというときに、ソニヤさん(この女の子です。彼女は小さいころからサッカーボール縫いをしていて、途中で失明してしまいましたが、それでも親戚の人が縫うのを手伝っていましたが、救出されたのちに「ヘルプ」を取ったカインシュ・サティヤル・マヤさんと一緒に来日しました。

記者会見で、彼女は「サッカーボールは大人が正当な賃金をもらって作ったものを使っている。子どもは学校へ行かなくて、そのために、どうか協力してください」と訴えました。

そして、私たちは、児童労働の問題を、単に途上の貧しい子たちがかわいそうに働いている問題としてではなく、自分たちの問題捉えをすべきだと訴えてくれました。

その結果、ACEが支援した地域で採れたカオを使って企業がチョコレートを作り、消費者の方々に、「児童労働がない」と言おうという問題があります。現在、カオ産産とコットン産産の児童労働を中心に取組んでいます。カオはガーナ、コットンはインドで、それぞれ現地のパートナーと共に児童労働

エシカルサミット「エシカル2018」

—エシカル・サステナブルな消費と生産の先進的取組—

2018年7/4(水)~7/6(金) 開催のご案内

会場 品川プリンスホテル

【主催】 一般社団法人日本エシカル推進協議会

【名誉顧問】 広中和歌子(元環境庁長官) 板東久美子(前消費者庁長官)

【実行委員長】 山本良一(東京大学名誉教授)

【後援】 消費者庁(予定)、環境省(予定)、経済産業省(予定)、他

【参加費】 エシカル推進協議会会員/協賛企業 5,000円(税込)
一般 10,000円(税込)

【懇親会】 7月4日(水)18時半~ 5,000円(税込)

※参加費のお支払いは当日受付にて承ります。

＝協賛企業＝
イオン株式会社/ IKEUCHI ORGANIC 株式会社/ 株式会社イトーキ
エイビーピー・ジャパン株式会社/ オリックス株式会社/ 花王株式会社
株式会社ケーズホールディングス/ 株式会社サエラ/ サラヤ株式会社
GEM 株式会社/ J. フロントティアリング株式会社/ 株式会社シクロン
積水化学工業株式会社/ 株式会社バスポート
株式会社三菱ケミカルホールディングス/ 株式会社リーテム

7月4日(水)	7月5日(木)	7月6日(金)
<p>9:30-10:00 開会挨拶</p> <p>山本良一 エシカル2018実行委員長/日本エシカル推進協議会会長 広中和歌子(公財)水と緑の環境保全機構理事/元環境庁長官 板東久美子 前消費者庁長官/法テラス理事</p> <p>10:00-11:30 特別講演</p> <p>小林寛三 三菱ケミカルホールディングス 取締役会長 1万5千人の科学者の警告「時間切れが迫る」 竹村真一 京都造形芸術大学 教授 / Earth Literacy Program 代表 消費者の未来へ一躍一人取り残さない</p> <p>11:30-12:15 エシカルトークセッション(交渉中)</p> <p>「東京エシカルタウン構想」 小池百合子 東京都知事 伊勢谷友介 リバースプロジェクト代表/俳優 岡村和英 消費者庁長官</p> <p>13:00-15:30 SDGsとエシカル消費についての講演</p> <p>根本かおる 国連広報センター所長 「SDGsとエシカル消費」 「SDGsとエシカル消費」 「SDGsとエシカル消費」 「SDGsとエシカル消費」</p> <p>16:00-18:00 パネル討論「エシカル・サステナブル消費普及の課題」</p> <p>司会:中野秀樹(東京大学名誉教授) パネリスト:秋本博生(環境市民代表) 津津 学治(グリーン購入ネットワーク事務局長) 中島佳織(フェアトレード・ラベル・ジャパン事務局長) 岡田千尋(アニマルライツセンター代表理事) 大澤亮(日本環境協会 エコマーク事務局承認課長) 神崎昌之(産業環境管理協会 LCA 事業推進センター所長) 岩附由香(ACE: Action against Child Exploitation 代表)</p> <p>18:30 懇親会:24階クリスタル</p>	<p>9:00-10:30 講演I</p> <p>エシカル消費と消費者教育 東珠実 南山大学名誉教授/日本消費者教育学会 エシカル消費の推進-消費者行政の一元化、企業の社会的責任、消費者市民社会の文脈から考える 松本健雄 国民生活センター 理事 消費者志向経営と倫理経営 樋口一清 法政大学教授</p> <p>11:00-12:30 講演II</p> <p>グリーン購入の現状と将来 平尾裕彦 東京大学大学院 グリーン購入ネットワーク会長 フェアトレードタウンの構築 長坂久 日本フェアトレードフォーラム 認定委員長 金融のエシカル化-ソーシャルファイナンスをいかに進めるか 河口真理子 大和総研 主席研究員</p> <p>13:30-15:30 エシカル/サステナブルイノベーションの取組みの講演I</p> <p>日本の循環経済の発展 許開華 格林美(株) 社長 イトーキのユニバーサル・エコデザイン製品 平井嘉朗(株)イトーキ代表取締役社長 持続可能な社会の実現をめざして-イオンの取り組み- 三宅孝一 イオン(株) 執行役員 環境・社会貢献・PR・IR担当 花王のサステナブルな経営と製品 柳田康一 花王(株) サステナビリティ推進部長 積水化学グループのサステナブル経営 三浦正之 積水化学工業(株) 代表取締役 経営戦略環境経営グループ 担当部長</p> <p>16:00-18:30 エシカル/サステナブルイノベーションの取組みの講演II</p> <p>エシカル消費とエシカル製品 更紗協介 サラヤ(株) 代表取締役社長 エシカルと環境 中島佳織(株)リーテム代表取締役 CEO 中野秀樹(株)ケーズホールディングス CSR 部長 自然採掘セロ宣言から始まったサステナブル経営への取組み タン・ウィー・シアン エイビーピー・ジャパン(株) 代表取締役会長 傘下広がるエシカル消費への試み 山本健(株)サエラ代表取締役社長</p>	<p>9:00-10:30 講演III</p> <p>畜産動物における福祉向上へのトレンド 佐藤賢一 帝京科学大学教授 日本のシニアフード・サステナビリティの現状と将来 阪口功 学習院大学教授 フェアトレード-認証レベルの現状と倫理的消費 佐藤賢一 JETROアジア経済研究所 上席主任調査員</p> <p>10:45-12:30 講演IV</p> <p>エシカル消費が創る、徳島の未来 小峰明 徳島県環境政策課 次長(安全安心担当) 日本のエシカル伝統技術の未来とは? 生野芳子 ファッションジャーナリスト エシカル商品開発への挑戦 岡部哲也 IKEUCHI ORGANIC(株) 取締役社長 グローバルLCAによる消費者教育 伊藤聖美 東京大学大学院 生産の家にいるエシカル消費の実践活動 佐藤賢一「生産の家にいるエシカル消費の実践活動」 13:30-15:00 グループディスカッション 講演:「消費者のより良い選択のためのアクション・ガイド」 について 吉谷由紀子 サステナビリティ消費者会議代表 グループA サステナブルな公共調達推進 黒田かをり CSO ネットワーク事務局長 グループB エシカル企業とエシカル消費者の連携 大石美奈子 NACS 代表理事事務局長 グループC 市民はどのようにしてエシカル消費者になるか 原田さとし エシカル・ベネローア(株) 代表取締役 グループD エシカル認証レベルの活用 山口真奈美(株) FEM 代表取締役 グループE エシカル教育の推進 薄羽美江(株) エムシープランニング代表取締役</p> <p>15:30-18:00 総括セッション:エシカル企業とエシカル消費者の連携</p> <p>「統合的なエシカル消費推進政策の必要性」 橋川幸一 日本女子大学教授 「持続可能な調達の実践に向けて」 富田英美 イイトーキ・サエラ(株) 取締役事業開発部長 「調達の現場」 岡田佳織 島田法律事務所 「各グループディスカッション報告」 18:00 エシカルサミット宣言発表 中野秀樹 日本エシカル推進協議会副会長</p>